

令和3年度大学教育再生戦略推進費 「知識集約型社会を支える人材育成事業」計画調書

[基本情報]

1. 大学名	千葉大学							
2. 機関番号	12501							
3. 事業者 (大学の設置者)	ふりがな なかやま としのり (氏名) 中山 俊憲	(職名) 学長						
4. 申請者 (大学の学長)	ふりがな なかやま としのり (氏名) 中山 俊憲	(職名) 学長						
5. 事業計画責任者	ふりがな おざわ ひろあき (氏名) 小澤 弘明	副学長 (教育改革)			(所属・職名) (大学院国際学術研究院・教授)			
6. メニュー	メニューⅢ インテンシブ教育プログラム							
	事業計画名	インテンシブ・イシュー教育プログラムのモデル展開						
7. 取組学部等名 【授与する学位】 ・受入学生数(1 学年あたり、事 業最終年度)	■取組学部等名【授与する学位】 国際教養学部国際教養学科【学士(国際教養学)】 ■受入学生数(1学年あたり、事業最終年度) 70名							
8. 事業計画の ポイント(400 字以内)	本事業は、課題から考えかつ、その課題を深めるために、横断する学問領域の教員による連携的かつ集約的なタームと、野外実習・実験、インターン、留学等、学外での学びを個々の学生がカスタマイズしやすいセルフデザインギャップタームを組み合わせたカリキュラムの構築を目的とする。本事業当初は、文理双方の研究領域教員が所属する国際教養学部において、インテンシブ・イシュー教育プログラムを構築する。その上で学部の垣根を越えた横断的なカリキュラムを全学的に展開し、インテンシブ・イシュー主体の全学的な学位プログラムの構築を目指す。本事業で示すインテンシブ・イシューは、現代的課題として捉え、大きな枠組みとして位置づけており、連携的かつ集約的なタームにおいて専門的な知識・技術を学び、セルフデザインギャップタームにおいて学外で学びを深める、メリハリのある課題解決型のカリキュラム運営を構築する。							
9. 学生・ 教職員数		学生数				教職員数(R3.5.1)		
		入学定員 (令和3年度)	全学生数 (R3.5.1)	収容定員 (令和3年度)	定員充足率 (R3.5.1)	教員数	職員数	合計
	学部	2,317 人	10,381 人	9,757 人	106.4%	1,324 人	2,167 人	3,491 人
	大学院	1,287 人	3,330 人	3,012 人	110.6%			
合計	3,604 人	13,711 人	12,769 人	107.4%				
10. 大学が設置する 全ての学部等名	国際教養学部、文学部、法政経学部、教育学部、理学部、工学部、園芸学部、医学部、薬学部、看護学部							
11. 連携先機関名 (他の大学、民間 企業等と連携した 取組の場合の機 関名)								
12. 学校教育法施行規則第172条の2第1項において「公表するものとする」とされた教育研究活動の状況について、公表しているHPのURL	http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/teaching/index.html							

(大学名:千葉大学)

(事業計画名:インテンシブ・イシュー教育プログラムのモデル展開)

13. 事業計画経費(単位:千円) ※千円未満は切り捨て						
年度(令和)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	合計	
事業規模	50,000	50,000	44,060	42,060	186,120	
内訳	補助金申請額	50,000	50,000	32,560	16,000	148,560
	大学負担額			11,500	26,060	37,560

※1. 文部科学省や他省庁が実施する他の補助金は「大学負担額」に計上しないこと。

※2. 国立大学における運営費交付金、公立大学における運営費交付金等、私立大学の私立大学経常費補助金等は「大学負担額」に計上しないこと。

(大学名:千葉大学)

(事業計画名:インテンシブ・イシュー教育プログラムのモデル展開)

インテンシブ・イシュー教育プログラムのモデル展開(千葉大学)

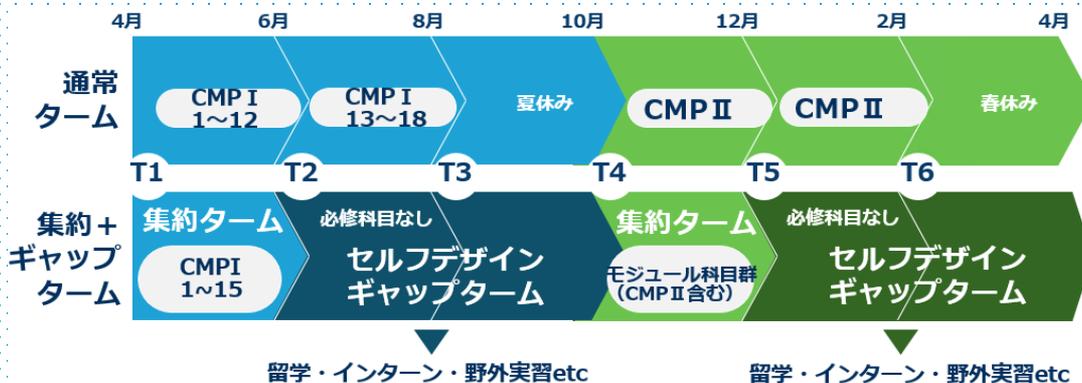
令和3年度大学教育再生戦略推進費 知識集約型社会を支える人材育成事業

メニューⅢ「インテンシブ教育プログラム」

インテンシブ・イシュー…深くそして大きな概念で捉えられる現代的な課題

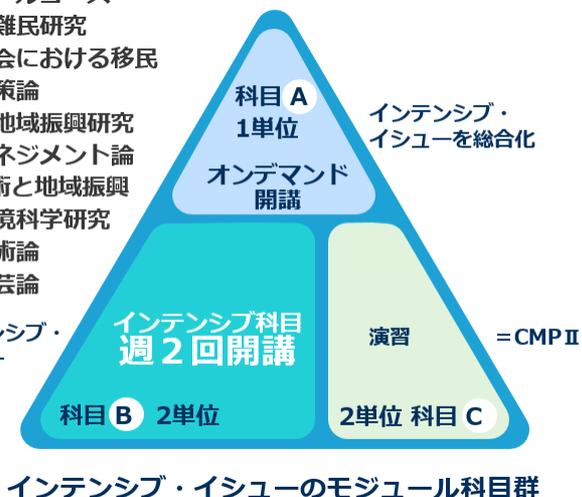
モジュール科目群…インテンシブ・イシューに関連する幅広い学問領域で集約的に学ぶ科目構成

集約的に学ぶターム(第1, 4ターム)、学外での諸活動を行いやすいターム(第2, 5ターム)(セルフデザインギャップターム)でメリハリのあるカリキュラムで学ぶ



モジュールコース
移民・難民研究
日本社会における移民
難民政策論
地方・地域振興研究
観光マネジメント論
IoT技術と地域振興
総合環境科学研究
科学技術論
環境園芸論

インテンシブ・イシュー各論



モジュール科目群の設定は、ディシプリンではなく、インテンシブ・イシュー本位に考え、10学部の枠を超えて、集約的な教育プログラムによる、学部横断型の学位プログラムを構築する。